

富山県感染症発生動向速報

(2026年第14週分・3月30日～4月5日)

■今週の主な動向

○インフルエンザは先週から更に減少し、警報終息基準を下回りました。

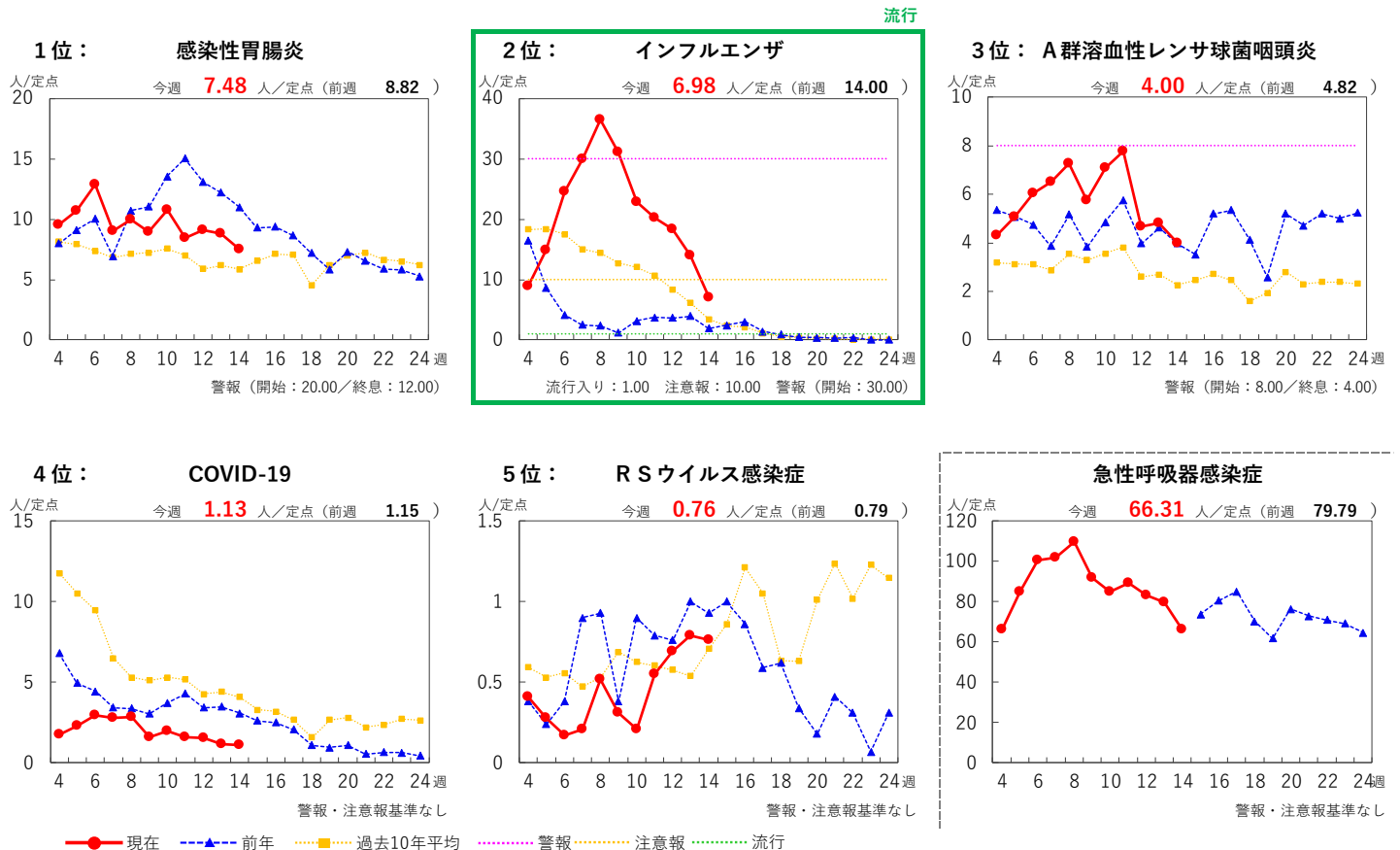
インフルエンザの報告数は今週 6.98 人/定点となり、警報レベルの終息基準である 10.0 人/定点を下回りました。しかし、流行は継続しているため、引き続き、手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。(インフルエンザの疫学所見、第9週インフォメーション参照)

○侵襲性肺炎球菌感染症の患者が4例(2026年累積9例)報告されました。

侵襲性肺炎球菌感染症(IPD)は、呼吸器病原性菌である肺炎球菌が血液や髄液などに侵入し、重い肺炎や髄膜炎などを起こす感染症です。IPDは乳幼児と高齢者を中心に報告され、冬季と春季に報告数が増加する季節性があります。予防には肺炎球菌ワクチン接種が有効です。(第1週インフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患+急性呼吸器感染症 (第14週・3/30～4/5)



厚生センター(保健所)管内別、直近の推移: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6>

■全数報告の感染症

- 二類感染症 結核 4件 (①10歳代、男性 ②20歳代、女性 ③30歳代、女性 ④70歳代、女性)
- 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 4件 (①20歳代、男性 ②60歳代、男性 ③80歳代、男性 ④90歳以上、女性)
- 梅毒 3件 (①第12週診断分: 50歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期 ②30歳代、男性、無症候 ③70歳代、女性、無症候)
- 百日咳 1件 (10歳未満、女性)



富山県感染症情報センター(富山県衛生研究所内)

TEL: 0766-56-5431(直通) HP: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>





よく手を洗いましょう！ 感染性胃腸炎

《インフォメーション》

● 感染性胃腸炎

県内の小児科定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数は、今週（第14週）7.48人/定点となり、先週の8.82人/定点から減少しました（図赤線）。感染性胃腸炎は例年冬季に患者報告数が増加する傾向があり、近年は春季にかけても患者報告数が増加する傾向があるため、今後の動向に注意が必要です。

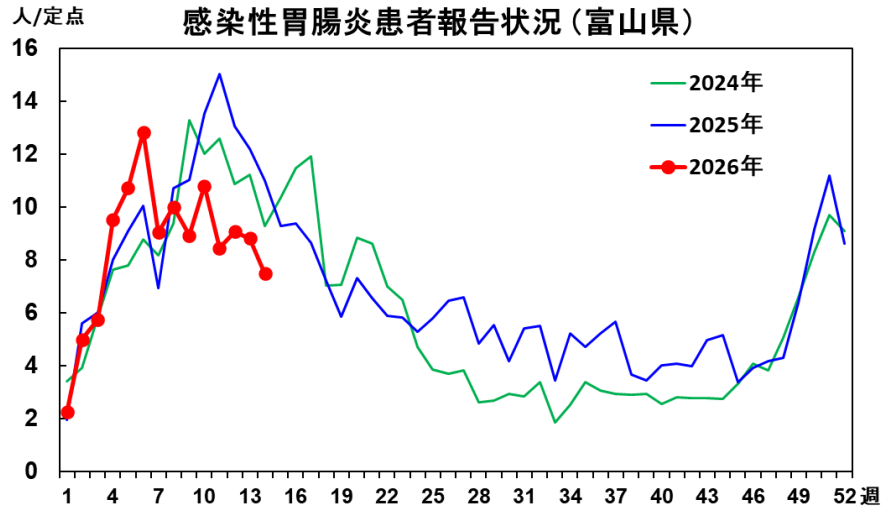
感染性胃腸炎は、ウイルスまたは細菌などの病原体による嘔吐、下痢を主症状とする感染症で、ウイルス（ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス等）を原因とするものが多くみられます。ノロウイルスは、主に汚染された糞便や吐物から人の手などを介した接触感染や、比較的狭い空間等での飛沫・塵埃（じんあい）感染によって広がります。ウイルスに感染後1～2日で、吐き気・おう吐・下痢・腹痛等の症状を引き起こします。ノロウイルスには有効な抗ウイルス薬やワクチンがないため、治療は対症療法が中心となります。

ノロウイルスは感染力が強く、アルコール消毒が効かないため、汚染された糞便や吐物、患者が使用したものなどは塩素系消毒剤等を用いて消毒する必要があります。また、症状の消失後も数週間ほど糞便からウイルスが排出されることから、症状がなくなっても引き続き、手洗いなどの感染予防を徹底しましょう。

ノロウイルスによる食中毒の多くは、調理従事者の手指を介した食品の汚染が原因となっています。調理従事者は手洗いを徹底するとともに、食品に直接触れる際には「使い捨て手袋」を着用しましょう。

次のことに注意してノロウイルスの感染を予防しましょう。

- 食事の前やトイレの後などには、十分に手を洗う。
 - 床等に飛び散った糞便や吐物を処理する際は、マスク・手袋・エプロンを着用したうえで、ペーパータオル等で拭き取った後に、塩素系消毒剤を用いる。
- 参考：[厚生労働省、この冬はノロウイルスに注意しましょう！予防対策リーフレット](#)
- 加熱が必要な食品は、しっかり加熱（中心部が85～90℃で90秒以上）して食べる。
 - 下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしない。



○感染症発生動向調査報告状況（2026年第14週 2026年3月30日～2026年4月5日）

分類	疾患	今週報告分（第14週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核			1		3	4	1		7	2	14	24	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					2	2	1		3	2	7	13	
	四類感染症	レジオネラ症							1	1	2	1	2	7	
	五類感染症	急性脳炎							1					1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									1	1		2	4
		侵襲性インフルエンザ菌感染症												2	2
		侵襲性肺炎球菌感染症			2		2	4	1		4			4	9
梅毒						2	2	2	2	1			6	11	
百日咳					1	1	1	1				7	8		
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症（※1）	265	253	1,022	308	1,335	3,183	5,399	4,720	16,224	4,767	20,426	51,536	
			37.86	50.60	78.62	44.00	83.44	66.31							
		インフルエンザ	32	45	77	67	114	335	1,407	1,171	3,240	1,363	4,542	11,723	
		4.57	9.00	5.92	9.57	7.13	6.98								
	COVID-19	10	12	10	8	14	54	251	130	223	116	420	1,140		
		1.43	2.40	0.77	1.14	0.88	1.13								
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1	1	9	4	7	22	21	9	51	15	70	166	
			0.25	0.33	1.13	1.00	0.70	0.76							
		咽頭結膜熱	1	1	3		3	7	24	6	81		51	162	
				0.33	0.38		0.30	0.24							
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	2	62	11	33	116	83	107	861	144	821	2,016	
			2.00	0.67	7.75	2.75	3.30	4.00							
		感染性胃腸炎	25	19	46	12	115	217	395	298	774	172	1,782	3,421	
			6.25	6.33	5.75	3.00	11.50	7.48							
		水痘					5	5	3	5	23	6	62	99	
							0.50	0.17							
		手足口病		3	1			4		4	2		1	7	
				1.00	0.13			0.14							
	伝染性紅斑		2				2	6	3	13	4	10	36		
			0.67				0.07								
突発性発しん	1		3	2	2	8	5	11	36	10	30	92			
	0.25		0.38	0.50	0.20	0.28									
ヘルパンギーナ					1	1	13					1	14		
					0.10	0.03									
流行性耳下腺炎								1				5	6		
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎							7	1	1			9		
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎												1	1	
	マイコプラズマ肺炎							8		2	2	3	15		
	クラミジア肺炎										2		2		
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1	1		2		
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※2）	2				1	3	53	41	49	40	98	281		
	COVID-19による入院患者			1			1	14	13	6	7	50	90		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週（9/1～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

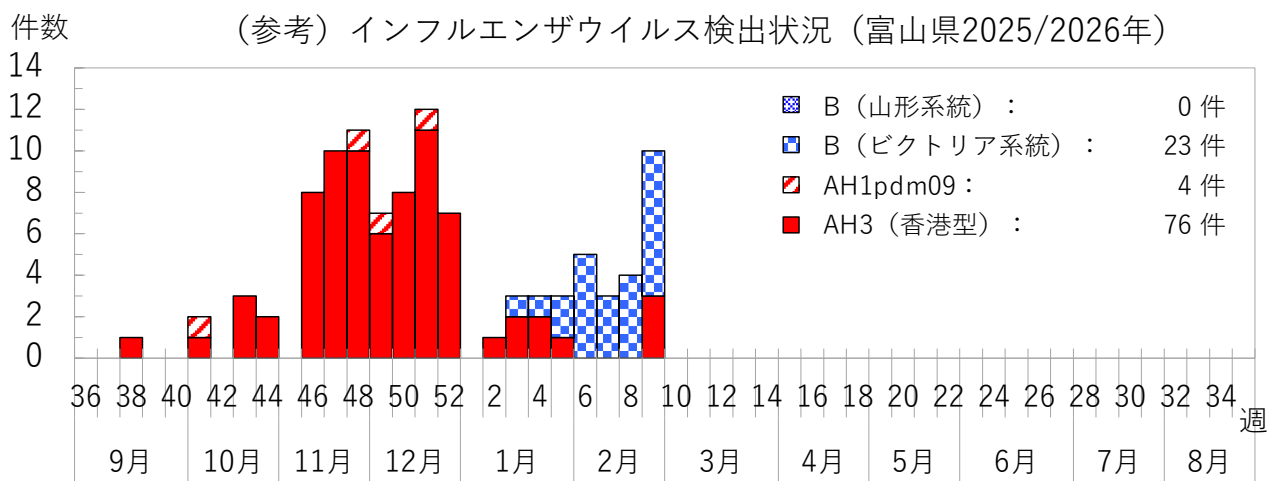
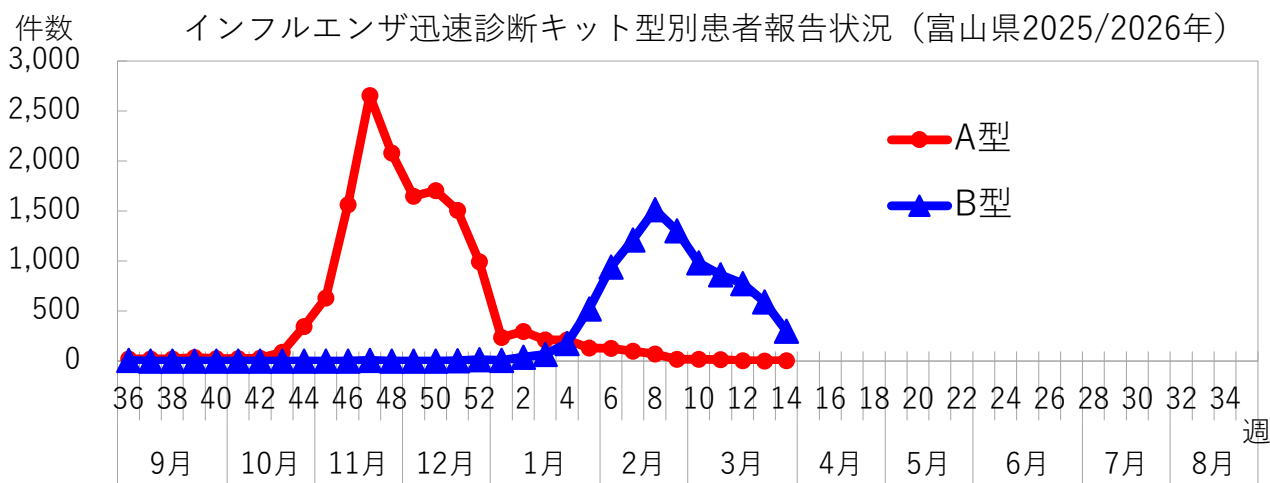
現在、下の表によると、B型が89.3%となっています。

第14週（3/30～4/5）：富山県 6.98人/定点（単位：件）

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	6 / 7	0	31	1	32
中部	5 / 5	0	40	5	45
高岡	11 / 13	0	68	9	77
砺波	6 / 7	0	64	3	67
富山市	13 / 16	3	96	15	114
富山県	41 / 48 ^{※1}	3	299	33	335
富山県累計（2025年36週～）		14,852	9,345	2,142	26,339

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が41か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。

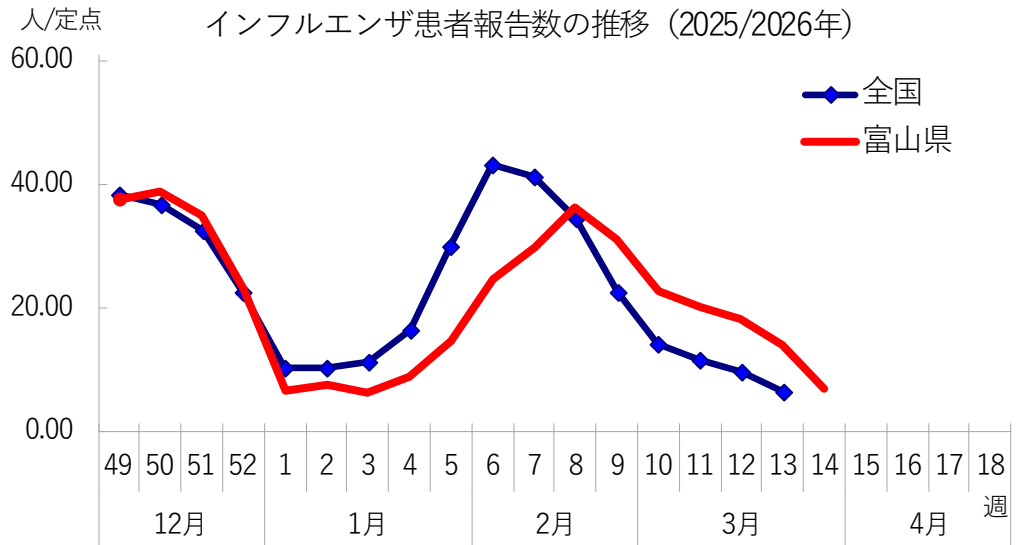


インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第14週（3/30～4/5）

富山県 6.98人/定点 [新川（4.57）、中部（9.00）、高岡（5.92）、砺波（9.57）、富山市（7.13）]

今週の県内の患者報告数は、6.98人/定点となり、先週(14.00)より減少しました。

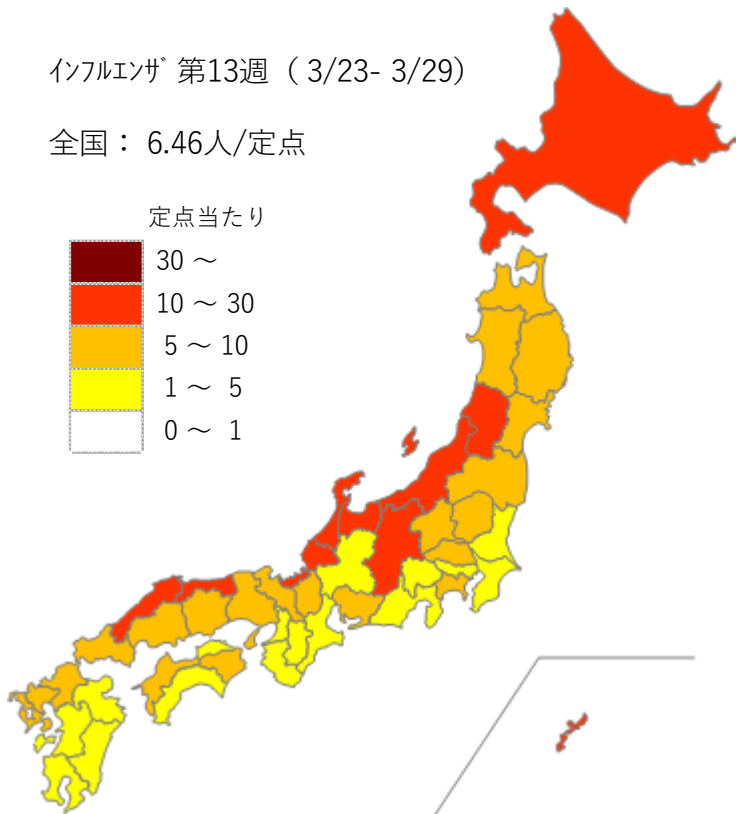
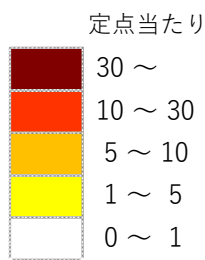


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第13週（3/23～3/29）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 6.46 人となり、前週の 9.75 人より減少しました。47 都道府県すべてで前週より減少しています。

インフルエンザ 第13週（3/23- 3/29）

全国：6.46人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	14.40 ↓	滋賀県	6.83 ↓
青森県	8.69 ↓	京都府	7.00 ↓
岩手県	9.14 ↓	大阪府	4.09 ↓
宮城県	5.36 ↓	兵庫県	5.93 ↓
秋田県	5.96 ↓	奈良県	4.57 ↓
山形県	10.03 ↓	和歌山県	4.24 ↓
福島県	7.77 ↓	鳥取県	13.86 ↓
茨城県	4.67 ↓	島根県	11.25 ↓
栃木県	5.91 ↓	岡山県	7.94 ↓
群馬県	9.24 ↓	広島県	6.94 ↓
埼玉県	5.92 ↓	山口県	8.63 ↓
千葉県	4.57 ↓	徳島県	7.15 ↓
東京都	4.48 ↓	香川県	4.74 ↓
神奈川県	5.09 ↓	愛媛県	9.76 ↓
新潟県	11.96 ↓	高知県	1.55 ↓
富山県	14.00 ↓	福岡県	7.01 ↓
石川県	14.09 ↓	佐賀県	5.04 ↓
福井県	10.00 ↓	長崎県	7.80 ↓
山梨県	3.83 ↓	熊本県	4.40 ↓
長野県	13.52 ↓	大分県	4.95 ↓
岐阜県	4.27 ↓	宮崎県	4.71 ↓
静岡県	2.87 ↓	鹿児島県	3.86 ↓
愛知県	5.47 ↓	沖縄県	11.31 ↓
三重県	3.68 ↓	全国	6.46 ↓



○感染症発生動向調査報告状況（2026年3月分）

五類感染症 定点把握 月報対象疾患

（上段…報告数、下段…定点医療機関当たりの報告数）

		3月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
STD定点 (10定点)	性器クラミジア感染症			1		5	6			10		15	25
				0.33		1.25	0.60						
	性器ヘルペスウイルス感染症			1		3	4		1	2		8	11
				0.33		0.75	0.40						
	尖圭コンジローマ					1	1			2		5	7
						0.25	0.10						
	淋菌感染症									1		3	4
基幹定点 (5定点)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1		1		7	9	2	5	5	2	11	25
		1.00		1.00		7.00	1.80						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。